様式第１号（第４条関係）

川越町支えあいまちづくり登録申請書

川越町長　様

　わたしは、環境にやさしく支えあうまちづくりのため太陽光発電システム等を設置し、大規模の災害による停電等、甚大な被害が発生した場合は、電力が復旧するまでの間、その太陽光発電システムの自立運転機能又は家庭用蓄電システムを活用するとともに、発電又は蓄えられた電力の一部を無償で近隣の住民に提供し、お互いに支えあう共助の一環として協力することを約束し、川越町支えあいまちづくり登録を行います。

|  |  |
| --- | --- |
| 太陽光発電システム等設置場所 |  |
| 自立運転時の出力規模 | 　　　ｋＷ　　　　 |
| 蓄電容量 | ｋＷｈ　　　 |
| 自立運転用コンセントの位置 |  |
| 連絡先 |  |

なお、登録するに当たり、下記内容に同意します。

１　災害による大規模停電時に、町や自治区からの要請に協力し、設置した太陽光発電システムの自立運転機能により発電された電力のうち、携帯電話の充電等の比較的小さな規模の電力を、近隣住民に対して無償で提供します。また、町や自治区からの要請がない場合でも率先して提供いたします。

２　川越町支えあいまちづくり登録者として、大規模災害が発生することに備え、氏名、住所及び電話番号を登録時点で町が該当自治区の区長へ公表することを承諾します。

３　近隣住民に対して電力を供給できるよう延長コード等の機器を準備します。

４　太陽光発電システムの自立運転の方法について家庭内で熟知します。また、事業所においては社員に対して研修等により熟知させます。

５　事業者は、休日、夜間などの無人の際に災害が発生することを考慮し、可能な範囲で事業所内の自動運転機能を起動させるため出社します。また、防犯の面からも社外に外部電源を取得できる場所を設け、周辺住民が利用できるようにします。

同意日　　　　年　　月　　日

氏名　　　　　　　　　　　　　　　印

住所

裏面あり

◆登録に当たっての注意事項

１　この登録は、太陽光発電システム等の町内への普及及び災害時における共助を目的とし、補助金を申請する場合に登録をお願いしております。大規模災害が発生した場合に登録者へ可能な範囲で助け合いの協力を要請するものですので、倒壊や故障、経年劣化など諸事情によって協力ができなかった場合でも補助金の返還は求めません。

２　電力の供給をお願いしたい具体的な例は次のような場合です。

　　　(１)情報収集のため携帯電話の充電や充電式の電化製品（充電式電池）の充電

　　　(２)行政からの情報を取得するための個別受信機の利用

　　　(３)非常食や乳児用ミルクを作るための電気ポットの利用

　　　(４)炊飯器等の利用による炊き出しの協力

　　　(５)冬季における暖房器具の利用

　　　(６)夏季における冷蔵庫の利用（医薬品の保存等への協力）　　　など

　３　自立運転機能による発電及び家庭用蓄電システムによる蓄電には利用量が限られているため、最優先課題となる情報の収集や、生命の安全確保につながる内容から協力ください。

　４　避難指示などが出ている場合は、町の指示に従い、地域支援より避難を優先して行ってください。